



Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2022年10月 vol.19

【本に親しみ、楽しむ習慣が続きますように】

皆さんの紹介文を読むと本に親しみを感じ、本を読むことに楽しみを感じておられるように思いました。私の6歳になった娘も絵本を読み、主人公になった気分で物語の続きを想像し、楽しんでます。テレビと違い音や映像などの外的な刺激はありませんが、想像力を膨らませ、心の中で音や声、景色を創っているようです。読書の秋、是非、本の中で独創的な世界を楽しんでください。(教育委員会 委員長:前田 吉紀)

誰も気づかなかった介護の真実 / 医療法人 森田記念会 介護老人保険施設 フロスベクトガーデンひたちなか

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 亀山 香織

要介護者の置かれた状況を疑似体験することで、「思いやりのある介護をするためにはどうあるべきか」を考えるヒントがたくさん載っています。例えば…



- ・半身麻痺を体験するため、顔にテーピングをして、食事で不自由な状態を体験する
- ・8時間、自分から言葉を発することを避け、失語症を体験する
- ・オムツに排泄をし、何時間もそのオムツをつけた状態で過ごす
- ・寝返りができない状態で、ベッドに2時間、体を固定する

これらの体験を介護士さんたちが実際に経験し、そこから得た気づきを本にまとめたものです。また、その内容は介護現場でも活かされており、利用者様の立場に立った介護に役立っているそうです。

よかれと思ってやっていることが、実は利用者様の心を傷つけることもあるとのことなので、相手に寄り添う介護を考えるときの参考にしてはいかがでしょうか？

・次回⇒ 特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 本田 有輝



夢をかなえるゾウ / 水野 敬也

グループホーム オアシス平野 / 主任 介護士 西森 夢子

この本は自己啓発本として出版されており、「自分の願いを叶えたい」と願う主人公の元に、ゾウの姿をした神様：ガネーシャが現れて毎日課題を与え、それをこなしていく中で主人公が人生や考え方を変えていく様子がストーリー風に描かれています。



お前なら、この課題を200%成功でやんで、夢をなくしたサラリーマン、異母兄弟のゾウと孫を、
ベストセラー『お金の神様』文芸春秋の『富貴な上流の暮らし』を著した水野敬也が、最も高いファンタジー小説、
夢をかなえるゾウ 水野敬也

ガネーシャはコテコテの関西弁で、何をやってもうまくいかない主人公に対して、日常での自制や身なり、掃除やコミュニケーションなど様々な課題を出していきます。

課題をこなすうちに主人公に変化が表れ、最初は「人生を変えたい」と悔しさのあまり泣いているだけだったのが、実現に向けて努力するようになります。

「大きな事ではなく、小さな事の積み重ねが成功につながる」
自分の中で、一つは課題が見つかる一冊だと思います。

・次回⇒ グループホーム オアシス平野 / 介護士 大竹 雅美



はだしのゲン わたしの遺書 / 中沢 啓治

グループホーム オアシスキズリ / 介護士 吉川 智美

私は広島出身で、子供の頃は毎年「原爆の日」8月6日は全校登校日で、テレビで流れる式典と共に黙祷し、その後「はだしのゲン」の映画を観たりして「平和教育の日」として育ってきました。



最近の世界の不穏な情勢、戦争をテーマにした番組をよく見かけるようになり、昔を思い出してこの本を手にとってみました。

「はだしのゲン」は問題発言やトラウマになるような表現も多数あり、賛否両論ある内容だとは思いますが、作者：中沢啓治氏は原爆で父、母、姉、弟、妹を亡くされており、この本はその実体験を元に書かれた自伝であり、中沢氏の言葉で語られる戦争や原爆の体験を通じて、不屈の精神、人生が描かれているように感じます。

受け取り方は人それぞれだとは思いますが、一度、戦争や平和について考える機会を設けてはいかがでしょうか。

悲惨な戦後を生き抜いて来られた方々のお世話をさせていただく上でも、貴重な時間かと思えます。

・次回⇒ グループホーム オアシスキズリ / 介護士 土居 一雅



おおきな木 / シェル・シルヴァスタイン

デイケア オアシス寿安 / 介護士 小野 千里

1本のりんごの木が、1人の人間に限りない愛を捧げる話です。白黒のシンプルな挿絵に短い文言が数行で、とても読みやすい絵本です。



りんごの木に見守られ、成長していった少年。月日は流れ、少年は大人になる。その子が「お金が欲しい」と言えば、木に実ったりんごを売るように言った。

「家が欲しい」と言った時は、木の枝を切り、家を建てることを提案した。幹を切り倒して、舟を作って行ってしまうも木はそれで嬉しかった。ただただ、相手に尽くす愛。親子間の無償の愛を見ているようでした。

私は、この木のような親にはなれていませんが、両親からは多くの無償の愛を注がれていたと感謝しています。

読み手によって捉え方や感じ方は様々で、正解はわかりませんが、色々考えさせられる良い絵本だと思います。是非読んでみて下さい。

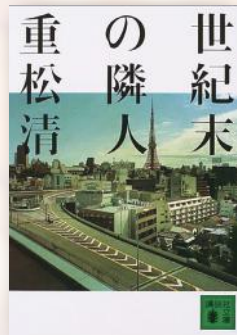
・次回⇒ デイケア オアシス寿安 / 介護士 戸田 敦子



世紀末の隣人 / 重松 清

特養オアシス寿安 地域連携課 / 主任 生活相談員 大久保 悟

「ヒ素カレー」、「池袋通り魔」、「酒鬼薔薇聖斗」、一定年齢以上の方であれば今並べた言葉が記憶にある方も多いのではないかと思います。これらは全て90年代後半に起きた事件を象徴する言葉であり、それぞれにまつわる事件はテレビ等で取り上げられ、一時、世間を大きく騒がせました。



本書は直木賞作家であり、フリーライターの実績も併せ持つ作家が、先ほど挙げたような90年代後半に起こった事件、或いは当時話題になっていた事象について、独自の視点で捉え、書き起こしたルポルタージュ的な作品となっています。

作者は実際に現地に赴き、事件の背景に思いを馳せる中で、事件の犯人となった人たちの人間性を浮かび上がらせていきます。彼らは私たちの「隣人」であり、ともすれば誰もが隣人となる可能性を持っている。本作は事件を通してそういった気付きを私に与えてくれました。

当時の事件を知らない人も新たな発見を得ることが出来る作品だと思いますので、興味のある方はぜひご一読ください。



・次回⇒管理本部 人事部 / 坂本 雅隆

「犬の十戒」 / ジュリアン出版社

老健 オアシス デイケア・ショート / 介護士 奥立 ちあき

「犬の十戒」は、作者不詳のまま広く世界に伝わっている英文の詩です。ノルウェーのフリーターが、犬の買い手に渡している『犬からご主人への11のお願い』が元とされています。犬の気持ちが、人へ話しかけるように綴られており、ペットを飼ったことがある方は思い当たることが多く、グッとくると思います。



私がこの本を知ったきっかけは『犬と私の10の約束』という映画でした。この映画は、犬を飼う責任・覚悟を改めて教えてくれました。その中で、約束事として出てきた言葉が気に入り、本を購入しました。この本以外にも色んな形で出版されており、子どもでも読みやすいよう絵本もあります。十戒のひとつに「あなたには仕事があるし、遊びの時間があるし、友達もいます。でも、僕にはあなたしかいません。」とあります。

子どもの頃はあまり深く考えたことはなかったけど、大人になって言葉の重みを感じました。自分の行動がひとつの命に関わるんだと感じました。

「忘れないでください。ぼくはいつも、あなたを愛しています。」
こんなに真つすぐ愛情を示してくれる相手に対して、自分は何が出来るのだろうと考えさせられました。コロナ禍でペットを飼う人が増えた今だからこそ、飼う前に一度読んでもらいたい本です。

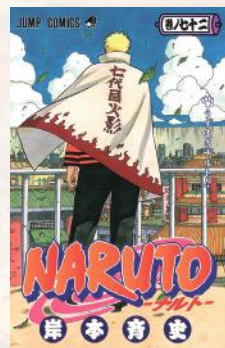


・次回⇒老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 平井 真由

NARUTO ナルトー / 岸本 斉史

老健 配食 / ドライバー 高橋 裕明

国内、海外共に人気の高い本作は1999年、少年ジャンプ本誌でドラゴンボールが終わった数年後から連載が始まりました。



最初はなんとなく読んでいただけでしたが、主人公のナルトが、火影(忍者の里の長)になるために苦手なことから逃げず、失敗してもまた挑戦する姿に惹かれ、応援するような気持ちで読むようになりました。

私のイチオシは、ナルトのライバル「サスケ」です。サスケの兄との一騎打ち、そして後に語られるその背景にある物語、全てが印象的です。

友情と成長、復讐と裏切り、対話と許し、様々な思いと絆が、しっかりと作られた世界観の中で展開していきます。

2014年、第700話をもって15年の連載に幕を閉じました。ラストも感動的でもとも良かったです。単行本72巻とボリュームはありますが、ヒーロー漫画、と片付けずに、何かの機会があれば読んでみてください。



・次回⇒老健 配食 / ドライバー 柿塚 貴人

オアシス文庫 recommend



蔵書ご案内

雑談がおもしろい人、つまらない人

／ 渡辺 龍太

私が今回この本を手にとったのは、タイトルがシンプルで読みやすそうであり、自身が「雑談」に苦手意識があったためです。

皆さんの中にも、雑談に苦手意識がある方がいらっしゃるかと思います。

特に知らない人と雑談するとなると体力を使いますね。しかし、誰とでも積極的に雑談をして盛り上がりやすくなることが出来れば、たくさんのメリットがあるのが事実であり、この本は、どのように雑談する力をつけられるのか?という事を分かりやすく教えてくれます。

私が一番印象に残ったのは「話す時間は短くていいと思っている」という項目です。長時間会話することが苦手な私は、話は短くて良かったんだ、と気が楽になりました。

一朝一夕で雑談が面白くなるのは難しいですが、大切な事を忘れずしようと思いました。気軽に読むことが出来ますので、皆様もぜひ手に取って読んでみてはいかがでしょうか。(教育委員会:小田 拓弘)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出しできます▶



編集後記

約60年前に出版された「おおきな木」は、私の家にもあります。(後に購入した「ぼくを探しに」「ビッグ・オーとの出会い」と共に大事にしています) 20代の頃に購入しましたが、読む年代や心境によって、本当に感じ方が変わります。

「はだしのゲン」「夢をかなえるゾウ」「NARUTO」、今回、そして過去にご紹介いただいた全ての本が、どんな環境にある時に、どんな心持ちで読むかによって姿を変えるのだと思います。実践本や教本ですら響き方が変わるように思います。すごいですね。まるで生き物です。

oasis おかげさまで25th Anniversary

教育委員会

(教育委員会:中島美和子)